

R2意見交換会 アンケート結果

テーマ：緊急時における聞こえない・聞こえにくい方への支援

【回収率：回答者数32名／来場者数50名（回答率64%）】

●講演に対する意見・感想等

【地域連携について】

- ・ 障がい者からの自己申告も必要だが、できない人もいる（文字を書けない等）。声なき人々への支援方法を市民レベルで考えて欲しい。
- ・ 地域で安心して暮らすために不可欠な行政・民生委員、また当事者が意見を出し相互理解をする為の場として良い機会だと思う。
- ・ 市民委員会を中心としたネットワークはできないか。
- ・ 町内の難聴者との連絡がスムーズにいかないのが現実。難聴者は近所とのつながりを避け、玄関フードに鍵をかけ電話も出ない。会えた時に連絡方法を聞いたところ、「居間あたりの窓ガラスをたたいて欲しい」とのこと。その人に合った連絡方法を考えていきたい。（民生委員）
- ・ 町内会や民生委員と関わりがとても大切あることを感じた。
- ・ 地域の民生委員とそこに暮らしている聴覚障がい者とのコミュニケーション、災害時のシミュレーションなどあれば良いと思う。

【Net119などについて】

- ・ メール119、FAX119又Net119など初めて知った。
- ・ Net119は便利だし有効なツールなので、広まると良い。
- ・ SNSなどのツールも災害時において有効だと思うので、必要な知識を得る必要がある。

【手話について】

- ・ 手話を使う人の具体的数字を聞いて手話通訳者との比率で、手話通訳者の数が圧倒的に少ないと感じた。
- ・ 手話サークルや手話講習会等で手話を学んだ、学んでいる人が多くなっているということに関して手話言語条例の役割は大きいと感じた。

●意見交換に対する意見・感想等

【地域連携について】

- ・ 地域で聴覚障がい者の把握がまず大切であり、町内会での関わり、聴覚障がい者がいる家族との関わりが大切。手話はわからなくてもジェスチャーで伝わることもある。
- ・ 34地区の民生委員で、聞こえない、聞こえにくい人の支援に差が出ないようお願いしたい。
- ・ 手話サークルと民生委員の関わりが必要。災害時は特に。
- ・ 民生委員が障がい者とあまり接点がないと発言したことは、今後の取組のひとつとなるだろうと期待したい。
- ・ 障がい者からも積極的に「私はここに住んでいる」、「私は障がい者である」など地域の民生委員だけでも

知らせて欲しい。高齢者の1人暮らしの安心見守り事業を町内会とも行っているが、障がい者はない。プライバシー保護もあるが災害時はそんな事を言ってもらえないと思う。

- ・ 地区民児協で緊急時に対応するという事は、普段からの関わりが大切になると考える。
- ・ 民生委員より「実際の活動で困った経験」は初耳だった。これからはろうあ協会と民生委員が連携して欲しいと思った。
- ・ 民生委員をしているが、障がいのある人を、ほとんどつかめていない。個人情報の兼ね合いもあると思うが、情報の入手方法を教えて欲しい。消防本部からの高齢者名簿は年1回、民生委員協議会の定例会で閲覧することはできているが。
- ・ 相互理解・互いの立場・考えをすり合わせる場が必要であり、最後は町内会等近隣の協力。人と人との助け合い+行政のシステムの活用の意図や思いを当事者の意見を聞いて施行することで活用数も増加するのではないかと思う。

【Net119などについて】

- ・ FAX119, メール119, Net119も聴覚障がいを持つ人と会話をして使いやすくなるようにすることが望ましい。せっかくのシステムがもったいない。
- ・ FAX119, メール119での件数が少ないという話だが、スマートフォン・FAXを持つ人が少ないのではないか。難しい人には市で貸出はできないか。

【その他】

- ・ 現状では不足していることをどうすれば良いか、何が必要か、どんな方法があるかの参考になった。今後取り組んでもらいたい。

●今後の手話施策（手話の普及、緊急時の支援等）に対する意見・要望

- ・ 春光地区の徘徊者のネットワークだけでなく、全市に対して、同じようなネットワークがあれば良いと思う。
- ・ 上川中部定住自立圏構想もあるので、より多くの地域に支援という観点で近隣8町への共有も必要だと思う。
- ・ 自分の住んでいる民生委員の取組が分からない。聞こえない人への対応等にこれから是非取り組んで欲しい。
- ・ 今回参加したことで知り得たツールがあった。もっと皆が知り得るようになれば良い。
- ・ 手話通訳者養成の目標値、市民の手話可能者数の市としての目標があれば知りたい。
- ・ 手話の出前講座やコミュニケーションボードの設置等、目で見て分かる取組を推進してもらいたい。
- ・ このような意見交換会で、情報共有、相互の意見交換を行うことは貴重であるため、今後も継続して欲しい。
- ・ 中途難失聴者協会、盲ろう者、ろうあ協会への支援に係って、旭川市聴覚障害者情報提供施設に一本化していく必要があると感じた。
- ・ 聴覚に障がいのある方だと分かるバッジをつけてもらうなどの手だてはどうか。(知られたくない人もいるかと思うが。)
- ・ 民生委員や町内会やろう者でワークショップを開催してはどうか。
- ・ 旭川市「民児連」の大会など、大人数の時に同様の講演をして欲しい。
- ・ 手話だけでなく、中途難失聴者や盲ろう者とともに共有して取り組んでいく必要がある。
- ・ 本日の意見交換会について何らかの「まとめ」を公表するのであれば、参加者の年齢・所属の構成比を出してもらいたい。理由は、ろう者のスムーズな社会参画のための活動をする上で必要な情報であるため。